

環 境 報 告 書

令和 4 年 7 月報告

事業所名	株式会社 小石興業			認定 ランク	☆☆☆
概 要	所 在 地	松本市波田 10068 番地 3			
	代 表 者	代表取締役 小石 雅之			
	概要 (従業員数・ 事業内容等)	建設業（従業員 48 名）			
	担 当 者	所属	総務	名前	永井 真吾
	連 絡 先	電話	0263-92-3092	FAX	0263-92-3095

○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	<ul style="list-style-type: none">① 二酸化炭素排出量の削減に努めます。② 水使用量の削減に努めます。③ グリーン購入やグリーン調達に努めます。④ 環境に配慮した作業及び製品提供に努めます。⑤ 環境関連法規制や当社が約束をしたことを順守します。
環境に関する取組み目標	<ul style="list-style-type: none">① 二酸化炭素排出量 2,195,599 kg-CO₂（基準年（H29 年）対比 95%）② 水使用量 646 m³（基準年（H29 年）対比 95%）③ グリーン製品の購入 107 件（基準年（H29 年）対比 105%）④ 工場現場での環境配慮製品・施工 74 件（基準年（H29 年）対比 105%）

具体的な取組み内容

①

- ・室内不在時、昼休時消灯
- ・使用外の IT 機器電源 OFF
- ・エアコン設定温度（冷房 28℃、暖房 20℃）
- ・アイドリングストップ
- ・急発進・急停車を控える
- ・タイヤ空気圧の適正管理

②

- ・節水の呼び掛け
- ・水資源の有効利用
- ・配管漏水の定期的点検

③

- ・グリーン製品の購入
- ・再生材料使用

④

- ・省エネ工事の施工
- ・再生資源の積極的利用
- ・環境に優しい工法採用

<p>実施結果（成果）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 二酸化炭素排出量 2,060,235 k g-CO₂（達成） ② 水使用量 633 m³（達成） ③ グリーン製品の購入 87 件（未達） ④ 工場現場での環境配慮製品・施工 75 件（達成）
<p>課題・問題点と その改善に向けて</p>	<p>従業員の環境配慮に対する意識が高まり、4 項目中 3 項目において目標を達成することができた。唯一未達であったグリーン購入に関しては、リサイクルによるゴミの減量を行い、製品購入自体が減少しており、引き続き活動を継続していく。</p>
<p>その他、 アピールポイント等</p>	<p>2022 年 6 月に全従業員参加による上高地ボランティア（遊歩道の清掃・整備を実施）を行った。上高地ボランティアは今回で開催 10 周年となり、表彰を受けた。</p> <p>環境配慮型透水性高強度ポーラスコンクリート「DRY TECH（ドライテック）」の製造を開始した。</p>





感謝状

株式会社 小石興業 殿

貴社は長年にわたり上高地での施設整備・清掃等の奉仕活動に全社を挙げて取り組まれ自然公園の環境保全推進に多大な貢献をされましたよってこうした活動が十周年を迎えるにあたり深く感謝の意を表します

令和四年六月二十五日

上高地を美しくする会

会長 小林清二



透水性高強度ポーラスコンクリート

DRYTECH

ドライテック



 **KOISHI** Group



DRY TECHとは

- ドライテックは高い透水性を持ちながら表面強度・曲げ強度に優れ、内部に連続的な空隙を持ち、透水性・通気性・保水性・吸音性・衝撃吸収性に優れた機能性コンクリートです。

- 毎年のようにみられる集中豪雨・台風による河川の氾濫・道路の冠水。その一つの原因として、従来のアスファルト舗装、コンクリート舗装や各種建築物による地表面の遮水が考えられます。

透水能力に優れているドライテックは歩道・建物外構・駐車場に使用され、雨水を地中に浸透させ、排水設備の負担を軽減し、自然災害に強い環境整備に貢献しています。

DRYTECH施工図

用途：駐車場・歩道・車路・エントランスアプローチ・犬走・公園・etc...

透水

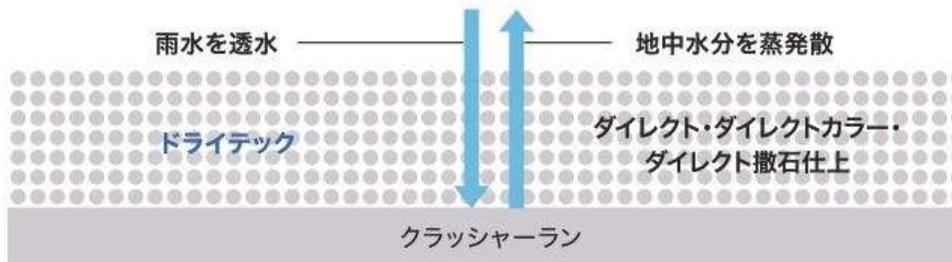
保水

放出機能

各種仕上げの施工システム

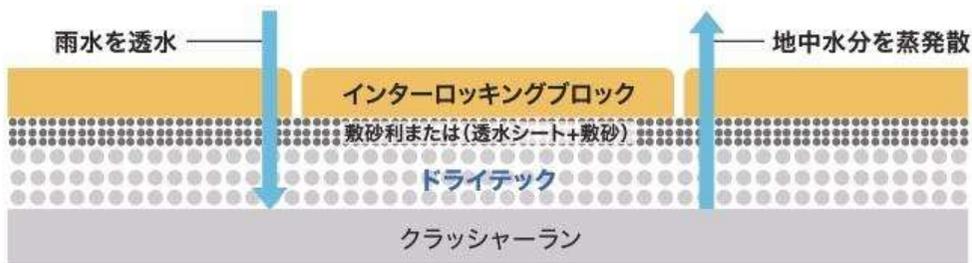
ダイレクト・ダイレクトカラー・ダイレクト撒石仕上

適用用途	ドライテック (mm厚)	クラッシャーラン (mm厚)
①	100	100
②	150	150



インターロッキング仕上

適用用途	ドライテック (mm厚)	クラッシャーラン (mm厚)
①	80~100	100
②	150	150



- ①適用用途：歩道・広場・駐車場および車路(一般車のみ)
- ②適用用途：3t以上の車両が想定される駐車場および車路

●施工システムは透水性インターロッキングブロックの場合です。



DRYTECH 施工例